

中学校第1学年総合的な学習の時間指導計画

1 単元名「大和に学び、大和を知ろう」

2 単元の目標

大和町のまちづくりやそれに携わる人々について調査する活動を通して、地元の特徴や人々の思いを理解し、ふるさとの良さや課題、自分たちとの関わりについて考えるとともに、ふるさとのためにできることを考え行動しようとする。

3 単元の指導と評価の計画

(1) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①大和町のまちづくりに関する取組とそれに携わる人々の思いがあることを理解している。 ②大和町の良さや人々の思いを理解するために、目的に応じて情報を収集したり、インタビューをしたりしている。 ③自分たちの関わりが大和町の活性化につながることを理解の深まりは、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	①大和町について、地域資源（自然・文化・歴史・人材・食・伝統工芸）を生かした取組や、携わる人々の思いから、地域の良さや町の課題を明らかにし、探究課題を設定している。 ②大和町の現状を捉えるために必要な情報について、手段を選択し多様な方法で収集している。 ③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関連付けたりしながら解決に向けて考えている。 ④大和町の活性化につながる取組について、調査結果や企画内容を、グラフや図、写真等を使って効果的に表現している。	①課題解決に向けた自己の取組を振り返ることを通して、自ら設定した課題の価値に気付き、自分の意志で探究的な活動に取り組もうとしている。 ②大和町について調べる活動体験を通して、他者の考えを生かしながら、協働して問題解決に取り組もうとしている。 ③大和町の活性化のために自分たちにできることを提案することを通して、積極的に社会に参画しようとしている。

(2) 単元の全体計画（20 時間扱い 本時 6・7 / 20）

段階	時	小単元名	○主な学習活動 ◆生徒の反応 ※指導上の留意点	評価規準			評価方法
				知	思	態	
課題の設定	(夏休み中)	(事前調査)	○大和町について、気になっていることや調べてみたいことを見付け、レポートを書き、大和町に対する興味・関心を高める。（社会・総合的な学習の時間課題） (例) ◆水害が多いのはなぜか ◆川の工事が進められているのはなぜか ◆交通の便が悪いのはなぜか ◆舞茸や伊達イワナが有名なのはなぜか ◆七ツ森や島田飴は全国でも有名か ◆吉岡宿はどんな町だったか ◆吉田地区、落合地区、鶴巣地区、吉岡地区の有名な物は何かな ※夏休み明けに回収し、生徒の興味・関心を把握する。 ※生徒の興味・関心は、まちづくり・自然・文化・歴史・人材・食・伝統工芸・産業に分類されると予想。				

課題の設定	1	1 大和町のまちづくりやそれに携わる人々について知ろう。 (11 時間)	○夏休みの課題で出た個人の意見を基に、学級全体で情報を共有する。 (テキストマイニング、ウェビング) ※小学校時代に行った地域学習についてもウェビングに加えさせる。 ※自分の小学校区の特徴について情報を伝え合い、大和町には自分がまだ発見していない魅力があることに気付かせる。 ※教員も、生徒が知らないような、大和町の魅力の例を一つ挙げ、大和町に対する興味・関心を高めさせ、町をよく知る人から話を聞いてみたいという思いを持たせ、次時の講演会へとつなげる。 (例) 実は大和町は… ・2020 年度全国優秀自治体ランキング 第 1 位 ・2021 年度 // 第 2 位 ・大学がある→宮城大学 ・準絶滅危惧のグンバイトンボが発見されたことがある等	①			ワークシート、レポート、観察
	2・3		○大和町の歴史やまちづくりについての講演会に参加し、地域の専門家や役場の職員から話を聞く。 ※国恩記や大和町第五次総合計画について、町役場の方に講話をいただく。大和町が抱えている課題についても話していただく。 講師 吉岡宿本陣案内所から 2 名 まちづくり政策課から 2 名 ○感想を書く。 ※「過去のまちづくり」と「現在のまちづくり」について知り、より良い町にするために、中学生としてできることに取り組もうという思いを持たせ、課題の設定へとつなげる。	①			ワークシート
	4		○夏休みの課題や講演会を通して生まれた興味・関心を基に、どんなことを探究したいか、自分の考えや思いをまとめる。 ※生徒の記述を基に、教師側で探究グループ編成(案)を作成する。	①			
	5		○探究していきたいと思う内容が近いメンバー同士で、探究グループを作る。個人で取り組みたい場合は個人探究も認める。 ※探究グループ編成(案)を生徒に示し、最終調整を行う。 ※編成終了後からは、担任・副担任でグループを分担し、まとめ・発表まで指導・助言する。				
	6・7 本時		○夏休みの課題や講演会を通して生まれた興味・関心や疑問を整理し、個人の問いを作る。(ワークシート) (例) ◆交通の便が悪いのはなぜだろう？ ◆大和町をテーマにした映画が作られたのはなぜだろう？	①			ワークシート

		1 大和町のまちづくりやそれに携わる人々について知ろう。 (11 時間) ◆美しい七ツ森についてどれくらいの人を知っているのだろうか？ ◆大和町の工業団地にはどんな工場や企業があるのだろうか？ ◆ひだまりの丘公衆浴場が廃業になるのはなぜだろうか？ ○個人の問い基に，グループで意見を出し合い，グループとしての探究課題を設定する。（思考ツール） ※自分たちが本当に取り組んでいきたいと強く思える探究課題となるように，生徒の話合いを見守り，適宜支援する。 (例) ◆吉岡宿の歴史を未来のまちづくりに生かすためにはどうしたら良いだろう。 ◆七ツ森の自然を生かしてまちおこしをするためにはどうしたら良いだろう。 ◆佐藤忠良，原阿佐緒の作品の魅力を伝えるためには，どうしたら良いだろう。 ◆どうすれば伊達イワナや舞茸等の特産品を全国の人々に伝えることができるだろう。 ◆まほろば祭りや島田飴祭りに新たな風を吹かせるために，どのような取組ができるだろう。 ◆大和町の産業の特徴を生かした起業プランにはどのようなものが考えられるだろう。 ◆大和町の交通の便をより便利にするためには，どうしたら良いだろう。等				
情報の収集	8・9	○学習の見通しを持つために，課題解決に向けた調査計画を立てる。 ○書籍，資料，インターネットから情報を収集する。 ※個人のタブレット端末端末を利用する。 ※図書室はグループの代表 2 名まで。 ◆インターネットや図書室の本で十分情報が集められそうだ。 ◆この収集方法だけでは，不十分。 ※他にどうやって情報を集められるかをグループ毎に考えさせる。 ◆実際に，詳しい話を聞いてみたい。 ◆写真や資料を集めたい。 ◆どこに行けばいいかな。 ◆誰に聞けばいいかな。 ※インターネットで調べきれなかったことについてインタビューするために，質問項目をグループでまとめさせる。 ※事前に地域コーディネーターやボランティアなどの人材をリストアップしておく。（協働教育担当が持っているリストを活用する） ※連絡調整が必要な場合は，学年主任が窓口となって行う。			①	行動観察，ワークシート

	10 ・ 11		○地域の専門家や役場の職員等にインタビューを行い、必要な情報や資料を収集する。 ※直接インタビューに行くことができない場合は、電話、メール、ファックス、オンライン等を活用し、実施する。 ※複数グループのインタビュー先が同一の人物や団体である場合は、質問事項の精選を行う。回答までの時間を見越し次時を設定する。 ※データの蓄積は、総合的な学習の時間用ファイル、クラウドを活用する。	②	②		行動観察、ワークシート
整理・分析	12 ・ 13	2 大和をさらによい町にするための提案を考えよう。 (2時間)	○収集した情報から、大和町をよりよい町にするための提案として必要な情報を吟味する。 ◆どちらの情報がより大切な。 ◆集めた情報を仲間分けしてみよう。 ◆この二つは似ている/違っている。 ◆足りない情報をもっと調べよう。 ◆タブレット端末を使ってみよう。 ※タブレット端末や思考ツールを活用させる。 ※他グループの学習の途中経過を参考にさせる。 ※一次情報、二次情報、三次情報の違いに触れ、信頼できる情報であるかを確認させる。 ※まとめ・表現での発信の方法も視野に入れながら、内容を吟味させる。		③	②	行動観察、ワークシート、資料
	14 ・ 15 ・ 16 ・ 17	3 大和をさらによい町にするために発信しよう。 (6時間)	○グループで学習してきたことを基に、よりよい町にするための提案をまとめる。 ◆大和町の魅力を再発見できるような新聞にしよう。 ◆住民や町役場の方々に、中学生の自分が考えた提案を伝える新聞にしよう。 ◆どのようにまとめたら伝わるかな。 ◆写真や図、グラフを入れると効果的かな。 ◆他の教科でやったことのあるまとめ方でやってみようか。 ※まとめ方は、壁新聞、個人新聞、ポスター、プレゼンテーション、動画等グループの学習に合わせて選択させる。			④	行動観察、発表資料、ワークシート
まとめ・表現	18 ・ 19		○学級毎に探究発表を行う。 ※1グループの持ち時間を、発表、質問・感想、準備・片付けも含めて10分とし、2時間で発表会ができるようにグループ数を割り当てる。 ※地域の専門家や役場の職員にも聞いていただく。 ◆自分たちの考えを十分に伝えることができた。 ◆まだ十分ではなかったことがあったから、もう少し自分たちの提案や資料を改善したいな。 ※良いアイデアがあれば、今後の大和町のまちづくりに生かしてもらえるように伝える。 (例) ふるさとCMのアイデアとして、役場で展示、「広報たいわ」に掲載等 ※この単元の学習を通して、町の魅力に気付かせ、未来の町のために自ら関わっていこうという前向きな心を育みたい。(社会参画の心)			③	行動観察、発表資料、ワークシート

振り返り	20	4 これからの自分について考えよう。 (1時間)	○これまでの取組や地域の方々から学んだことを振り返り、これからの自分の生き方について考える。 ◆「大和町のまちづくりの提案」やってみておもしろかったな。 ◆「大和町のまちづくりの提案」難しかったけど、他の町でどんなまちづくりをしているかについても探究してみたいな。 ※今後も「探究的な学習」に取り組んでみたいという気持ちで学習を終える。	③			ワークシート
------	----	-----------------------------	---	---	--	--	--------

4 本時の計画

(1) 目標

大和町をよりよい町にするために、自分の考えを他者と共有し、グループとして探究する課題を設定する。

(2) 本時の指導に当たって

夏休みの課題や前時の大和町についての講話を通して、生徒は大和町について、個人の問いを持った。本時は、同じような考えを持つ生徒で探究グループを作り、探究課題を設定する時間である。自分たちの住む地域について真剣に探究していくことができる課題を設定させたい。グループの課題設定の場面では、互いの考えや思いをまとめていく難しさがある。この場面では思考ツールを活用して、個人の問いを発展させたり、複数の問いから一つの課題へと焦点化させたりしたい。また、自分の意見を伝えることが苦手な生徒には、教師、メンバーとの対話を通して少しずつ意見を伝えられるようにする。

(3) 指導過程 (6・7時間目/20時間)

段階	学習活動 ○主な発問・指示 ◆予想される生徒の反応	◎指導上の留意点	評価
導入 5分	1 前時の学習を振り返る。	◎前時の講話について振り返らせることで、大和町の魅力を発見していこうという気持ちを思い起こさせる。	
	2 「大テーマ×小テーマ」のグループ毎に机を組み、自己紹介し、リーダー、副リーダーを決める。	◎前時までに決定した1人～4人のグループで、少し間を取りながら机を組むよう伝える。 ※個人探究の場合は、個人メンバーで近くに座り、自己紹介をさせる。	
	3 本時の学習課題を確認する。		
	大和町をよりよい町にするために、グループの探究課題を決めよう！		
		◎本時は、個人の考えをグループの探究課題としてまとめることを伝える。	
展開 90分	4 グループの探究課題を決める。 ①自分が「気になること」を青色の付箋に記入する。 探究課題決定ワークシート1(1) (3分) ②グループのみんなの「気になること」についてまとめる。 探究課題決定ワークシート1(2) (10分)	・ 本時のワークシート, 10/5 に記入したワークシート, 付箋, ペンを配付する。 ◎第4時に記入したワークシートを基に書かせる。 ※考えが複数ある場合は、一つの考えを一枚の付箋に記入する。	【思・判・表①】 大和町について、地域資源(自然・文化・歴史・人材・食・伝統工芸)を生かした取組や、携わる人々の思いから、地域の良さや町の課題を明らかにし、探究課題を設定しているか。(ワークシート)

	③自分の「こうだったらいいな、こうしたいな」を赤色の付箋に記入する。 探究課題決定ワークシート 2(1) (3分) ④グループみんなの「こうだったらいいな、こうしたいな」についてまとめる。探究課題決定ワークシート 2(2) (10分) ⑤他のグループの話合いの途中経過を見て歩き、参考にする。(4分) ○他のグループがどのような話合いをしているか、見て歩き、参考にしましょう。 ⑥グループの探究課題について話合い、決定したら発表用のワークシートにペン書きする。 (15分) ○自分たちが本当に取り組んでいきたいと強く思える一つの問いに絞るようにしましょう。 ○次は、グループ毎に発表し、探究計画を立てます。では、休み時間です。 (5時間目終了 10分休憩)..... 5 完成したグループの探究課題をクラス全体に向けて発表する。 (10分) ○発表用のワークシートを全体に見せながら、発表して下さい。 6 グループの探究計画を立てる。 探究計画ワークシート (30分) 7 他のグループの話合いの途中経過を見て歩き、参考にする。(5分)	◎ボックスチャートの使い方を説明して、始めさせる。 =ボックスチャートの使い方= ○大きな箱は「個人が気になっていること」です。 自分で書いたふせんを貼ります。 ○真ん中の箱は「グループのみんなが気になっていること」です。 個人の意見をまとめて、書き込みます。 ◎一つ一つのグループを周りながら、話合いを見守り、必要に応じて声掛けを行う。 ◎個人探究の生徒も、周りの生徒と交流させながら、進めさせる。 ◎探究課題の設定の仕方について、確認をしてから始めさせる。 探究課題は、「～について、～のこと」で終わると単なる「調べ学習」になってしまいます。 「～を調べる!」のような動詞で終わる形にしてみよう! 「～は何か?」のような疑問形も Good! また、出来上がった探究課題が、下の条件をクリアしているか確認してみましょう! ☐自分たちが本当に「知りたい」「取り組みたい」と思うものになっていますか? ☐自分たちが取り組もうとしていることは、「誰か」「何か」のために役立ちますか? ◎一つにまとまらないグループには、教師が話合いのヒントとなるような声掛けをする。 ◎まだ課題が決まっていないグループも、現時点での途中経過を報告させる。 ◎今回決定した探究課題は、調べていく中で、少しずつ変わっていてもよいものだという事を伝える。 ・ワークシートを配布し、内容について確認し、始めさせる。 ◎次の時間まで、自宅でできる下調べなどはどんどん進めていてよいことを伝える。
--	--	--

終 末 5 分	8 本時の学習の振り返りを行う。 ○次の時間は、タブレット端末と図書室で情報の収集に入ります。 ○では、今日のまとめを振り返りシートに記入して下さい。	・振り返りシートを配付する。 ◎次時の指示を出し、見通しを持たせる。 ◎自分たちの学習の進み具合について把握させ、次は何をするのかについて学習の見通しを持たせる。	
------------------	--	--	--

(4) 本時の評価

評価の観点	評価規準
思考・判断・表現	大和町について、地域資源（自然・文化・歴史・人材・食・伝統工芸）を生かした取組や、携わる人々の思いから、地域の良さや町の課題を明らかにし、探究課題を設定している。

(5) 準備物

①教師：本時の目標，ワークシート（課題設定用，発表用，探究計画用），拡大図付箋（青色，赤色），マジックペン，マグネット

②生徒：総合用ファイル，筆記用具，第4時でまとめたワークシート，タブレット端末

(6) 板書計画

大和町よりよい町にするために，探究課題を決めよう！		
ボックスチャートの拡大図	各グループの探究課題 発表時の掲示スペース	今後の探究計画 (10～12月)の拡大図
探究課題のチェックの拡大図		

(7) 本単元の学習と他教科の学習との関連

地理的分野 「地域調査の手法」 (指導時期：第2学年前期)
「地域の在り方」 (指導時期：第2学年後期)

学習日: R 年 月 日 [自然×セツ森]グループ 氏名

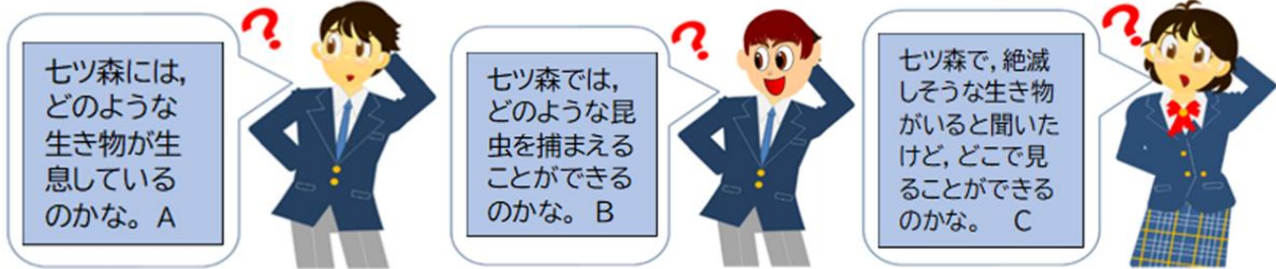
大和町をよりよい町にするために！ グループの探究課題を決めよう！

1(1)「大和町の現在について気になっていることや疑問に思っていること」を青色のふせん
に書きましょう。(第4時に書いたことを参考にしましょう。)

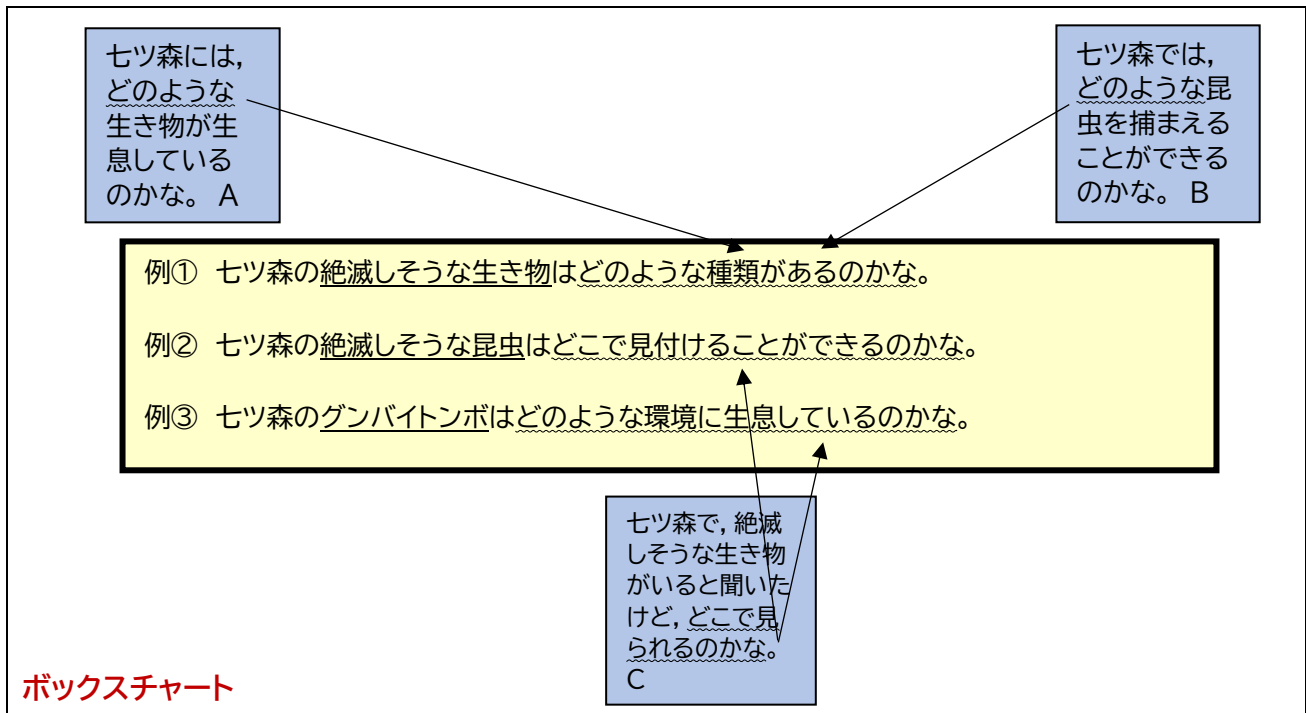
Aくん

Bくん

Cさん



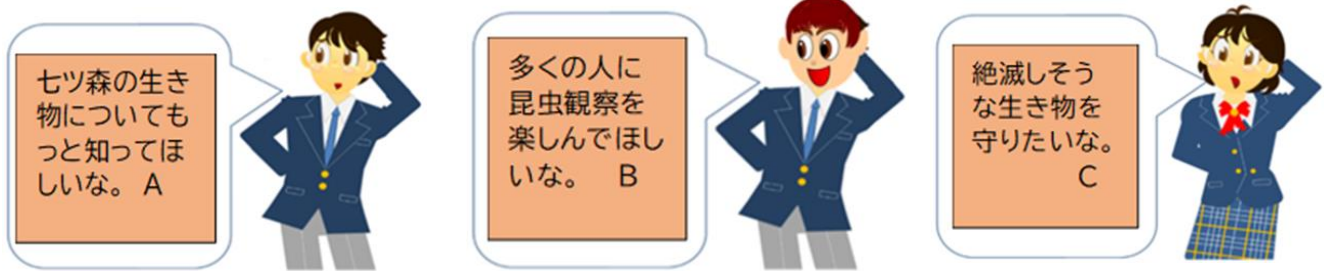
(2)「グループみんなが気になっていることや疑問」を確認しましょう。



=ボックスチャートの使い方=

- 大きな箱は「個人の意見」をふせんに書いて貼ります。
- 真ん中の箱は「個人の意見」をまとめて、「グループみんなの意見」として、書き込みます。
- 探究する対象を「絶滅しそうな生き物」のように広めにまとめたり、「グンバイトンボ」のように焦点化してまとめたりすることができます。グループでよく話し合しましょう！

2(1)「大和町の未来についてこうだったらいいな、こうしたいなと思っていること」を赤色のふせんに書きましょう。



七ツ森の生き物についてもっと知ってほしいな。 A

生き物が生息する環境を守りたい。 A

例① 絶滅しそうな生き物の保護活動に取り組みたい。

例② 絶滅しそうな昆虫が見られる場所を知らせたい。

例③ グンバイトンボの生息する環境を守りたい。

多くの人に昆虫観察を楽しんでほしいな。 B

絶滅しそうな生き物を守りたいな。 C

(2)こうだったらいいな,こうしたいなという「グループみんなの願い」を確認しましょう。

3 1(2)「グループみんなが気になっていること」と,2(2)「グループみんなの願い」を組み合わせ、グループの探究課題を決めましょう。

例③七ツ森のグンバイトンボはどのような環境に生息しているのかな。

+

例③生息する環境を守りたい。

+

探究課題＝「解決したい問い」です。
「どうしたら～?」「どうすれば～?」
というような疑問文にしよう!

グループの探究課題

○良い例
七ツ森のグンバイトンボが生息する環境を守るためにはどうしたら良いか?

×良くない例
「七ツ森のグンバイトンボについて」「七ツ森のグンバイトンボのこと」

探究課題は、「～について、～のこと」で終わると単なる「調べ学習」になってしまいます。また、「インターネットで調べたら、すぐに答えが分かる」＝「浅い問い」。「直接誰かに聞かなければ分からない」「自分で行動を起こさないと分からない」＝「深い問い」です!「深い問い」を目指そう!

最後に,出来上がった探究課題が,下の条件をクリアしているか確認してみましょう!
☐自分たちが本当に「知りたい」「取り組みたい」と思うものになっていますか?
☐自分たちが取り組もうとしていることは,「誰か」「何か」のために役立ちますか?



学習日: R 年 月 日 [×]グループ 氏名

大和町をよりよい町にするために！ **グループの探究課題を決めよう！**

- 1(1) 「大和町の現在について気になっていることや疑問に思っていること」を青色のふせん
に書きましょう。 (第4時に書いたことを参考にしましょう。)
- (2) 「グループみんなが気になっていることや疑問」を確認しましょう。



ボックスチャート



= ボックスチャートの使い方 =

- 大きな箱は「個人の意見」をふせんに書いて貼ります。
- 真ん中の箱は「個人の意見」をまとめて、「グループみんなの意見」として、書き込みます。
- 探究する対象を「絶滅しそうな生き物」のように広めにまとめたり、「グンバイトンボ」のように焦点化してまとめたりすることができます。グループでよく話し合しましょう！

2(1)「大和町の未来についてこうだったらいいな、こうしたいなと思っていること」を赤色のふせんに書きましょう。

(2)こうだったらいいな,こうしたいなという「グループみんなの願い」を確認しましょう。



ボックスチャート

3 1(2)「グループみんなが気になっていることや疑問」と,2(2)「グループみんなの願い」を組み合わせて,グループの探究課題を決めましょう。

グループみんなが
気になっていることや疑問



グループみんなの
願い



探究課題＝「解決したい問い」です。
「どうしたら～?」「どうすれば～?」
というような疑問文にしよう!

グループの探究課題

探究課題は,「～について,～のこと」で終わると単なる「調べ学習」になってしまいます。また,
「インターネットで調べたら,すぐに答えが分かる」＝「浅い問い」。「直接誰かに聞かなければ分
からない」「自分で行動を起こさないと分からない」＝「深い問い」です!「深い問い」を目指そう!

また,出来上がった探究課題が,下の条件をクリアしているか確認してみましょう!

- ☐自分たちが本当に「知りたい」「取り組みたい」と思うものになっていますか?
- ☐自分たちが取り組もうとしていることは,「誰か」「何か」のために役立ちますか?



学習日: R 年 月 日 [自然 × 川]グループ 氏名

(例)

大和をよりよい町にするために グループの探究計画を立てよう！

STEP1 グループの探究課題を書こう！

大和町の自然の力をエネルギーとして活用する方法を探る！

STEP2 探究課題を設定した理由を書こう！

(この探究課題が気になったきっかけや理由。この探究課題がよりよいまちづくりにつながると考えた理由。)

エネルギー問題は今の社会にとって必要とされていて、大和町の川の力をエネルギーとして活用できれば、よりよい町になると考えたからです。

STEP3 課題を解決するために必要な情報について考えよう！

(どんなことを調べたら良いかを考える。)

- ・現在の大和町の電力はどこから来ているかについて
- ・大和町の自然資源で発電に活用できるものがあるかについて
- ・水力発電の仕組みや設備の建設方法について

STEP4 情報収集の方法について考えよう！

(どうやったら、何を使ったら調べたいことの答えが見つかるかを考える。)

- ・小学校6年生の理科の教科書、中学校3年生の科学の教科書
- ・インターネット
- ・大和町役場(インタビュー)
- ・電力会社(インタビュー)

STEP5 まとめ方を考えよう！

(自分たちの考えや思いを伝えやすいまとめ方を考えよう！)

- ・壁新聞、個人新聞
- ・ポスター
- ・スライド、動画 等

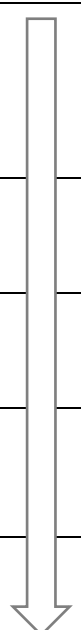
自分たちの力で無理なく取り組めるもので OK！

STEP6 最終ゴールをイメージしよう！

(自分たちの探究課題についてまとめたら、それをどうしたいか。)

資料にまとめたことを、町役場の方に見ていただきたい。

STEP7 探究計画を立てよう！

	日時	全体の探究スケジュール	グループの探究スケジュール	メモ
課題の設定	9/16 ⑤	オリエンテーション(1) ・国恩記について知る	 課題の設定からまとめ・表現まで、いつまでに何をしたら良いかという計画を自分たちで考えて見通しを持って活動しましょう！	
	9/30 ⑤⑥	オリエンテーション(2) ・講演会「大和町について学ぶ」		
	10/5 ⑤⑥	グループ分けに向けて ・個人の考えの記入 ・グループ分け		
	10/13 ⑤⑥	探究課題設定 「大和町をよりよい町にするために、探究課題を決めよう！」		
情報の収集	10/21 ⑤	情報の収集 ・図書室、インターネット	例)大和町の電力について、ネットを使って調べられる情報を集める。	
	10/21 ⑥	情報の収集 ・図書室、インターネット	例)ネットで調べられなかった情報を、誰に聞けば良いか調べる。	
	10/28 ⑤	情報の収集 ・インタビュー (電話, FAX, メール)	例)役場への質問項目をタブレット端末で作り、先生に点検してもらう。	
	10/28 ⑥	情報の収集 ・インタビュー (電話, FAX, メール)	例)準備ができたなら、役場への送り方について先生と相談する。	
整理・分析	11/10 ⑤⑥	整理・分析 ・集めた情報についての話し合い ・他グループとの情報交換	 例を参考にしながら、自分たちの探究の流れを計画していきましょう！	
まとめ・表現	11/17 ⑤⑥	まとめ・表現 ・資料作成		
	12/1 ⑤⑥	まとめ・表現 ・資料作成		
	12/8 ⑤⑥	まとめ・表現 ・学級発表会		
	12/15 ⑤	振り返り ・今回の学習について個人で振り返る		

学習日: R 年 月 日 [×]グループ 氏名

大和をよりよい町にするために **グループの探究計画を立てよう！**

STEP1 グループの探究課題を書こう！

STEP2 探究課題を設定した理由を書こう！

(この探究課題が気になったきっかけや理由。この探究課題がよりよいまちづくりにつながると考えた理由。)

STEP3 課題を解決するために必要な情報について考えよう！

(どんなことを調べたら良いかを考える。)

STEP4 情報収集の方法について考えよう！

(どうやったら、何を使ったら調べたいことの答えが見つかるかを考える。)

STEP5 まとめ方を考えよう！

(自分たちが詳しく調べたことや考えたことを分かりやすくまとめる方法を考えよう！)

STEP6 最終ゴールをイメージしよう！

(自分たちの探究課題についてまとめたら、それをどうしたいか。)

STEP7 探究計画を立てよう！

	日時	全体の探究スケジュール	グループの探究スケジュール	メモ
課題の設定	9/16 ⑤	オリエンテーション(1) ・国恩記について知る		課題の設定からまとめ・表現まで、いつまでに何をしたら良いかという計画を自分たちで考えて見通しを持って活動しましょう！
	9/30 ⑤⑥	オリエンテーション(2) ・講演会「大和町について学ぶ」		
	10/5 ⑤⑥	グループ分けに向けて ・個人の考えの記入 ・グループ分け		
	10/13 ⑤⑥	探究課題設定 「大和町をよりよい町にするために、探究課題を決めよう！」		
情報の収集	10/21 ⑤	情報の収集 ・図書室、インターネット		
	10/21 ⑥	情報の収集 ・図書室、インターネット		
	10/28 ⑤	情報の収集 ・インタビュー（電話、FAX、メール）		
	10/28 ⑥	情報の収集 ・インタビュー（電話、FAX、メール）		
整理・分析	11/10 ⑤⑥	整理・分析 ・集めた情報についての話し合い ・他グループとの情報交換		
まとめ・表現	11/17 ⑤⑥	まとめ・表現 ・資料作成		
	12/1 ⑤⑥	まとめ・表現 ・資料作成		
	12/8 ⑤⑥	まとめ・表現 ・学級発表会		
	12/15 ⑤	振り返り ・今回の学習について個人で振り返る		

振り返りカード

1年 組 番 氏名()

4・5	月 日	段 階			
	/	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現
まとめ (学んだことや, 進み具合など を書こう)					
次の時間にやること (次にやること, やるとよいと思 うことを書こう)					
ふり返り (今日考えたこと, 次に向けて 考えていることなどを書こう)					
6・7	月 日	段 階			
	/	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現
まとめ (学んだことや, 進み具合など を書こう)					
次の時間にやること (次にやること, やるとよいと思 うことを書こう)					
ふり返り (今日考えたこと, 次に向けて 考えていることなどを書こう)					